

気づき、考え、実行する さし人つつしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.13
令和3年9月29日
文責：校長 松野克己

コロナ禍での運動会・・・でも変わらないこと



します。

コロナ禍の運動会でも変わらないことがあります。それは子どもたちのこの運動会に向けたやる気です。今、子どもたちは運動場で練習をしています。大きく体を動かしたり声を出したりと、ひたむきさが伝わってきます。特に応援リーダーは朝、昼、放課後と気合いのこもった練習をしていますし、パネルリーダーも、黙々とイラストの完成を目指しています。様々な制限はあるものの、運動会に向けるやる気にコロナの影響はありません。仲間といっしょに何かを創り上げていく日々はきっと心に残る思い出となることでしょうし、運動会当日は、どの子も精一杯の姿を見せてくれるものと思います。



授業時数の回復措置



学校で勉強する教科には「標準時数」という最低限実施しなくてはならない時間数が決められています。例えば6年生の社会は年間105時間ですから、週に3時間程度実施していけばいいことになります。通常であれば十分に余裕があるのですが、新型コロナで一斉臨時休校のあった昨年度は13日間の授業日がお休みとなったため、夏休みを大幅に短縮して授業時数を回復しました。今年度は新型コロナによる一斉臨時休業はしないという基本方針でしたが、唐津市は急激な感染者の拡大で8月末の登校日取りやめ、9月1～3日の臨時休業、さらに6日～10日の午前中授業、その上、17日は台風14号による臨時休校といった対策を行ったため、高学年の標準時数確保が難しくなりました。

そこで本校では不足時数を計算した上で次のような措置をとることとしました。

○運動会や卒業式の全体練習や準備時間を短縮する。

○5時間授業日を予定していた日を6時間授業にする。

○1つ1つの行事で無駄がなかったかを検証し、準備等の時間短縮を図る。 など

このような措置で、とりあえず標準時数の確保ができそうですが、今後台風や大雪などの臨時休校があると、再び不足する事態となります。そういった状況の学校が多かったことから、今年度は予定していなかった土曜授業を唐津市全ての公立小中学校で統一して2回実施することになりました。期日は以下の通りです。

11月6日(土)午前中 12月4日(土)午前中

教育委員会からの文書は後日お渡しします。

この両日は午前中4校時で、給食はありません。対応のほどよろしくお願いします。

写真集を寄贈していただきました

毎年、本校の卒業アルバムを作成していただいている八幡町の写真家、熊本築城さんに写真集を寄贈していただきました。普段、ほとんど写真集を目にすることがない私ですが、改めてプロの撮影する写真の美しさを感じることができました。図書室にコーナーを作って貸し出しているのですが、昨日も20冊いただいた中で4冊しか残っていない盛況ぶりでした。熊本さんありがとうございました。



草刈りありがとうございました



もう一つ、お世話になったみなさんの紹介をします。本校の運動場、南東部は粘土質の土が多く、水はけも悪い上に根をしっかりと張った草を取るのがたいへんです。新型コロナウイルス感染防止でPTA除草作業ができなかったため、平山教頭をはじめとした職員が少しずつ草取りをしていました。そんな中で、5年生の瀬戸ななこさんのお父さんに、乗用草刈り機を使って2回に渡り、広範囲の草刈りをしていただきました。また宮本監督率いる佐志シャークの児童や指導者、保護者の皆さんにも草取りをしていただきました。運動会の駐車場として使わせていただく佐志校区駐車場の草刈りを坂本弘志さんを始めとした八幡町の方にいただきました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

準優勝おめでとう



7月23日にあった「玄海町長杯争奪少年軟式野球大会」で佐志シャークが準優勝となったということで、放送で紹介し校長室で西元キャプテンに表彰状を渡しました。(後ろにあるのは、春に行われた「すみれ幼稚園杯争奪少年軟式野球大会」で優勝した時の優勝旗です。)

先日、私も試合を見に行きました。準決勝ということで引き締まった試合でした。ピッチャー西元くんのコントロールのよさや、全ての選手が早打ちせずしっかりとボールを引きつけ、腰を入れて強く振るスイングのすばらしさに感心しました。残念ながら、試合には敗れましたが、相手ピッチャーは唐津地区でナンバーワンとも言われる選手ですから、なかなかヒットが出なかったのも仕方ないでしょう。今後の活躍も期待しています。

3年生地域の漁業の学習

9月28日(火)に3年生が地域の漁業についての学習をしました。3年生は1学期に玄海漬の高田さんや名護屋城博物館の安永さんという講師の方に授業をしていただき、主に近海で行われていた捕鯨についての学びを深めました。

今回の講師は前佐志小校長の原口先生。校区である唐房地区の漁業を中心に写真を使ってお話してもらいました。以前は捕鯨が行われていたことやイワシ漁で栄えたこと、捕る漁業から育てる漁業への転換によって、牡蠣の養殖やQサバというブランドで漁業の活性化を目指していることなど、私自身、聞いていて勉強になりました。3年生は今月の初旬に東京から「クジラ博士」をお招きする予定でしたが、新型コロナの影響で、今のところ保留となっています。このまま感染拡大に歯止めがかかっている状況であれば、ぜひ実現させたいと思っています。

